

# 好間団地の住みこなしの工夫

## 玄関 我が家の顔にカスタマイズ



玄関前のデッキスペースを柵で囲い、ペットが動き回れるスペースに。



玄関前に屋根をかけ壁で覆えば物干しスペースとして利用できる。

## 収納 足りない収納スペースを拡大



ホームセンターに売っているカラーボックスや収納箱を利用して玄関前に収納を拡大。



玄関横に隣の玄関まで届く大きな底を設置。脚立など大きな荷物の保管場所として重宝する。

## 彩り 仮設住宅を楽しく華やかに



通路に並ぶひまわり。通行人の目を楽しませてくれる。殺風景な仮設住宅を華やかに。



通路は仮設の共用の庭。プランターを並べて華やかに。野菜を育てれば収穫の楽しみも。

# 芽生え始めた住みこなし

## 住民によるカスタマイズ

去る平成23年10月16日、いわき市好間仮設住宅団地（福島県）において「仮設住宅を120%住みこなし方法「レクチャー」」が開催され、仮設住宅を快適にするための工夫の情報交換が行われた。住みにくいといわれる仮設住宅だが、少しの工夫を施すことで、快適な住環境に改良していけることを住民同士で学んだ。

「レクチャー」は好間仮設住宅団地の支援を行っているNPO法人ふくしま災害コーディネーター支援センターが開催し、住民に対する仮設住宅の住みこなし

に関するレクチャーや、好間の団地で見られた住みこなし事例（左図）の収集および即日展示が行われた。好間団地を訪問した第一印象では、住民による仮設

住宅の改造はあまり見られなかった。しかし、団地内を探してみると、一部の住宅では通路にプランターを並べて華やかな植物を育てていたり、空きスペースを

利用して収納空間の拡大を図っていたりと、仮設住宅を少しでも快適に生活できる環境にしようと、住民自らが工夫を凝らしている様子が見え始めた。

「仮設のトリセツ」とは…？新潟県中越地震の事例を参考に仮設住宅の住みこなし方を紹介したWebサイト。



発行所  
新潟大学工学部岩佐研究室  
仮設のトリセツ編集部

仮設住宅の居住環境の改善には、ちよつとしたアイテム（すだれ、エアーカーペット、木材）が欠かせないが、こうしたアイテムが容易に手に入るのがホームセンター。多くの仮設団地がこうしたアイテムの入手に苦労しているなかで、好間団地は巨大なホームセンターがすぐ近くにあり、是非、一度足を運ぶことをお勧めしたい。あなたの工作魂が大いに刺激されるはず。また、意外に使えるのが100円ショップ。「こんなものが！」というアイテム満載。いろいろなアイデアを気楽に試せるのもうれしい。

# カスタマイズコンテスト in 好間

住みこなしの展示と併せて、カスタマイズコンテストも開催された。この企画は仮設住宅に見られる工夫の中から最も魅力的なものを決めるというもの。特徴的な工夫事例8点が選出され、投票の結果、団地の空を畑として利用した「仮設の菜園」がグランプリに輝いた。実際に園芸の方法を教えるもらっている住民もいるようで、住民たちの「仮設住宅での生活を楽しいものにした」という意欲が感じられた。

## カスタマイズのきっかけに「仮設のトリセツ出張編集部」



団地の集会所の壁面を利用して展示された「仮設のトリセツ」と好間団地で見られた事例。

まずはじめに行われたレクチャーには十数人の住民と支援員の方々が参加し、仮設の住みこなしの方法やカスタマイズ事例の紹介などが行われた。参加した住民たちは熱心に話を聴いており、住民からの質問や悩みが多く寄せられ、仮設住宅の改造に対する意欲の高さがうかがえた。

た住みこなし事例の展示は、団地にある集会所の壁面を利用して行われた。展示には好間で見られた工夫に加え、南三陸、仙台、郡山の仮設住宅で見られた工夫も併せて展示された。この展示は一週間続けられ、レクチャーに参加した住民だけでなく、通りがかった住民など、団地内の多くの方々に見ていただくことが

できた。住民たちの多くは、仮設住宅を住みやすくしたいと思うているものの、どのようになればよいか方法がわからないというのが現状である。今回のイベントをきっかけに、住民同士のノウハウの共有が進むことを期待したい。



仮設のトリセツ

**グランプリ**  
「仮設の菜園」



団地の端にあるちよつとした空き地を菜園に利用。ねぎや葉物野菜など、いろいろな野菜が育てられる。

**準グランプリ**  
「玄関先の有効活用」



玄関先のデッキスペースを有効活用。カラーボックスなどを用いた収納スペースや、物干し竿を渡して物干し場として利用している。

**第三位**  
「超巨大底」



金属パイプを使って巨大な底を作成。たくさん洗濯物を干すことができる。簡易な物置場にも。

## 仮設の力

好間団地で活躍する方々  
NPO「ふくしま災害コーディネーター支援センター」の金成さん  
好間団地などでイベントの開催などの支援を行って。地元住民たちと協力して快適に生活できる仮設団地を目指す。



【編集後記】 好間仮設住宅でワークショップを行うにあたり、ふくしま災害コーディネーター支援センターの金成さんおよび支援員の皆様には大変お世話になりました。ご協力ありがとうございました。また、レクチャーや展示に参加していただいた住民の方々からは貴重なご意見を頂くことができました。ありがとうございました。